

2024（令和6）年度 薬学部卒業研究論文 著者と研究テーマ

卒業研究の目的と概要

薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、研究テーマを通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を習得し、それを生涯にわたって高め続ける態度を養う。

学部の講座系並びにセンター組織に属する各研究室において指導教員の下に個々に研究テーマを定め、実験を通して得られた結果や調査を通して収集した情報について、教員とのディスカッションを踏まえ考察する。考察を基に問題解決策や将来に向けての展望など、卒業研究に対して自身で総括を行う。

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 菊地 奏太 | CBDA 種大麻草のクローン栽培におけるカンナビノイド含有量の変動に関する研究 |
| 盛林 明日香 | 食用として汎用されている大麻グミ中のカンナビノイドの検出に関する鑑識科学的研究 |
| 大竹 琴音 | DPP-4 阻害薬が 2 型糖尿病患者の血小板減少に及ぼす影響 |
| 桐山 佳穂 | SGLT2 阻害薬がリハビリテーション患者における機能的自立度の利得に与える影響 |
| 加藤 真那 | 全国健康保険協会の統計データを用いた糖尿病薬が及ぼす糖尿病医療費への影響と地域差の現状 |
| 西井 真琴 | 地域別の向精神薬多剤投与に関する状況調査 |
| 松木 晃 | Chalcone、(<i>E</i>)-2'-Hydroxychalcone 及び 2',4'-Dihydroxychalcone の 紫外可視分光測定 |
| 安原 咲良 | flavanone 及び 7'-hydroxyflavanone の 紫外可視分光測定 |
| 梶野 美穂 | [Trp ⁶]-myticalin A6 (3-23)-OH における <i>N</i> -末端部または <i>C</i> -末端部への (Trp-Pro-Arg) <i>n</i> 伸長誘導体類の合成および構造活性相関の検討 |
| 神谷 佳奈 | 6, 9 または 12 位 Trp 置換 myticalin A6 (3-23)-Trp-Pro-Arg-OH 誘導体類の合成および構造活性相関の検討 |
| 高橋 怜花 | 塩基性アミノ酸を水溶性アミノ酸に置換した polymyxin B 誘導体における抗菌活性に関する研究 |
| 花岡 優 | レボフロキサシン結合 polymyxin B 誘導体の構造活性相関に関する研究 |
| 鷹合 優樹 | Neuro2a 細胞に対するフラバノン誘導体の神経突起伸張作用における A 環及び B 環の水酸基の影響 |
| 有澤 貴子 | Neuro2a 細胞における AB-055-6 の神経突起伸張メカニズム |
| 南 佑美 | ヒト膵臓がん細胞 PANC-1 細胞に対する胆汁酸の栄養飢餓耐性解除作用に関する研究 |
| 丸山 愛望 | 発光ダイオードを用いた水溶性クロフィル誘導体の光増感作用に関する研究 |
| 峯 奈津貴 | トポイソメラーゼ I 活性阻害作用を有するボルフィリン類の探索に関する研究 |
| 三須 敦史 | PTSW 型坐剤溶出試験器による薬局製剤クエチアピン坐剤の製剤学的評価に関する研究 |
| 徳成 こころ | PTSW 型坐剤溶出試験におけるフィルターの違いによる薬物溶出挙動への影響 |
| 坂野 はる | マウス脳腫瘍モデルでの病態悪化と行動障害に及ぼす膜結合型プロスタグランジン E2 合成酵素の役割に関する研究 |
| 米田 美奈子 | マウスにおける乳幼児期複雑型熱性痙攣が成長後のてんかん閾値と脳炎症に及ぼす影響 |
| 梅澤 京香 | 高齢者の日常生活・社会活動の多様性とフレイル予防に関する調査研究 |
| 土田 静佳 | 子どもからのロコモティブシンドローム予防の重要性 |
| 古田 千裕 | 回復期リハビリテーション病棟における転倒と薬剤の関連性に関する検討 |
| 宮崎 琴音 | 在宅医療への病院薬剤師の介入に関する調査研究 |
| 品川 昌嗣 | 本学薬用植物園で保有する <i>Scutellaria</i> 属植物に関する調査研究 |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------|
| 関澤 七海 | ナルコユリ (<i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray) の地上部の成分について |
| 松林 陽菜 | RNA ウイルス由来プロテアーゼを発現させる昆虫細胞 / バキュロウイルス発現系の作成 |
| 松本 翔太 | デングウイルスに対して抗ウイルス効果を示すフラボノイドの探索に関する研究 |
| 野村 征太郎 | 温泉療法の補完代替医療としての有用性に関する調査研究 |
| 村本 響 | 肥満・メタボリックシンドロームに対する腸内細菌叢コントロールの有用性に関する調査研究 |
| 松谷 愛天音 | 脂肪細胞の脂質蓄積と活性酸素産生に及ぼすブテインの影響に関する研究 |
| 毛利 美香 | マクロファージと脂肪細胞の共培養におけるブテインの炎症抑制とインスリン応答性分子への影響に関する研究 |
| 大久保 大登 | 石川県における地域フォーミュラリーの導入に向けた検討 ―薬剤師対象の意識等調査― |
| 越田 開成 | 石川県における地域フォーミュラリーの導入に向けた検討 ―医師・歯科医師対象の意識等調査― |
| 福田 侑真 | 放射線治療に対する意識調査と医療従事者のかかわりに関する研究 |
| 上田 菜々子 | がん教育の実践を踏まえた、これからのがん教育への薬剤師としての関わりに関する一考察 |
| 濱口 昌太 | ヒト細胞株 MCF-7 における低 LET 放射線での DNA 直接切断による細胞応答と作用機序検討 |
| 大城 飛羽 | ヒト乳がん細胞株 MCF-7 における低線量 B 粒子照射による G2/M 期停止機序の解明 |
| 大谷 桐子 | 小児医療に関する調査研究～小児用医薬品等について～ |
| 永田 綾美 | これからの薬局について |
| 中内 悠帆 | インドール骨格を有するトリプトファン代謝物のペルオキシナイトライトとの反応性 |
| 布島 未葵 | 食品タンパク質のニトロ化と環境因子による影響 |
| 小林 弘枝 | サルコペニアを改善する生薬の探索研究 |
| 吉田 昂生 | 骨格筋細胞におけるインスリン抵抗性改善作用を有する生薬の探索研究 |
| 黒瀬 舞花 | HPLC・UV によるミコフェノール酸の定量法の開発 |
| 高井 梨楠 | HPLC・UV によるペンタクロロフェノールの定量法の開発 |
| 坂下 未奈 | 薬局外来高齢患者におけるフレイルと薬物療法に関する研究 |
| 端谷 大輝 | ピロリジンジチオカルバメート銅錯体とボルテゾミブの細胞傷害メカニズムの相違に関する研究 |
| 武田 さつき | 8-prenylnaringenin 及び 6-prenylnaringenin の構造活性の比較に関する調査研究 |
| 関 萌々花 | ヒト網膜色素上皮細胞株 ARPE-19 におけるアシクロビル低感受性要因の解析 |
| 比嘉 友依理 | ヒトサイトメガロウイルス 91-7S 株のケモカイン発現誘導に関する遺伝子機能解析 |
| 向坂 葵 | 高齢者を対象とした経口固形製剤の経管投与チューブ通過性に関する検討 |
| 今井 珠稀 | 小児を対象とした経口固形製剤の経管投与チューブ通過性に関する検討 |
| 石川 泰誠 | こめ油とキャノーラ油の加熱調理による酸敗と粘度の関係 |
| 澤田 空良 | ヒト三次元培養表皮モデルを用いた成人・新生児表皮角化細胞の表皮形成に及ぼすアスコルビン酸の影響評価に関する研究 |
| 望月 龍斗 | 災害時における高タンパク補完食～高齢者や栄養摂取制限者への施策～ |
| 堅田 峻行 | 日本の薬学教育におけるゲーム要素の導入事例に関する調査研究 |
| 伊東 拓馬 | ゲーム学習の競争要素が学習効果に与える影響 |
| 佃 涼平 | がん化学療法に伴う末梢神経障害に対する牛車腎気丸の有効性に関する調査研究 |
| 中野 舞香 | 薬剤師国家試験をベースとしたゲーム学習の学習に対するモチベーション向上への有効性について |
| 宮城 かほ | 学生の学習意欲向上を目的とするゲーム学習作成のための薬剤師国家試験及び模擬試験の分析とゲームの選定 |
| 石坂 咲来 | 認知症における新薬開発の状況と民間療法 |
| 林 夏芽 | トリアゾール環を含むカルノシン類似体の合成経路の提案 |
| 久田 成華 | 新型コロナウイルスの後遺症と漢方に関する研究 |
| 山口 ほのか | 大建中湯処方患者の漢方医学的「証」の適合に関する実態に関する研究 |
| 一ツ橋 遥 | 軟骨細胞への分化促進剤の創製を目指した新たな Flavone 誘導体の合成研究 |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------|
| 西川 未来 | Heck 反応による新たな Flavanone 誘導体の合成研究 |
| 棚田 真夕 | MD シミュレーションを用いたフラボノイドとチロシナーゼの結合解析に関する研究 |
| 徳丸 楓 | 分子シミュレーションを用いた HCoV-229E 3CL プロテアーゼとイソフラボン化合物の複合体構造解析 |
| 森 優未乃 | カワラケツメイ由来フラボノイド誘導体による脂肪症の改善効果 |
| 山城 吏艶 | カワラケツメイ由来フラボノイドによる破骨細胞分化抑制効果 |
| 山岸 しのの | ヒト滑膜細胞における IL-18 誘導性の IL-6 とマトリックスメタロプロテアーゼの産生に対する Liquiritigenin の効果 |
| 林 梨央奈 | フラバノン誘導体 AB044 の筋管形成促進作用における β -カテニンの関与 |
| 安井 晴香 | ソフトカプセルの軟化の程度の数値化と保管条件の提案 |
| 山下 秀幸 | 調湿材を用いた医薬品の保管に関する研究 |